

令和 5 年度

唐津・玄海圏域二級水系流域治水協議会

唐津・玄海地域の県管理河川大規模氾濫に関する減災対策協議会

---

#### 4 減災対策協議会 概ね 5 年間の取組について

資料一4

概ね5年間(R6～R9)で実施する取組

Table with columns for specific measures, implementation years (R5-R9), and implementation status for four categories: 唐津市, 玄海町, 佐賀地方気象台, and 危機管理防災課. It details various disaster prevention activities like map updates, training, and facility maintenance.

資料-4

概ね5年間(R6~R9)で実施する取組

具体的な取組の柱	事項 具体的な取組項目	実施内容	実施時期	ダム管理事務所					唐津土木事務所					85年度以降の実施予定(注) (継続、完了、新規、削除)																										
				R5実施内容	R6実施内容(計画)	実施年度					R5実施内容	R6実施内容(計画)	実施年度																											
						R5	R6	R7	R8	R9			R5		R6	R7	R8	R9																						
1. ハード対策																																								
【避難行動・水防活動・排水活動等に資する基盤等の整備】																																								
①	河川沿道に資するための避難所案内看板の取組	避難所案内看板の設置													継続	市町対象																								
②	住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標)の設置	住民の目につきやすい橋梁の橋脚などに、河川水位の危険度レベルを用いた水位情報標識の設置													R28年度から順次実施	等内完了	完了	県対象																						
③	住民にわかりやすく水位情報を示すための距離標の設置	住民の目につきやすい河川の堤防に、河口からの距離、海拔を表示した距離標の設置															完了	県対象																						
2. ソフト対策																																								
① 水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組																																								
【水害リスク情報の共有】																																								
①	水害リスク情報を共有できるハードマップへの改良と周知及び活用促進	ハードマップの改良と周知															継続	市町対象																						
②	水位周知河川以外の1級河川、2級河川を対象とした想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図等の公表	水位周知河川以外の1級河川、2級河川の浸水想定区域図作成															R28年度から順次実施	等内完了	継続	県対象																				
【防災意識の啓発】																																								
③	防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと配布	マイ防災マップの整備																	継続	市町																				
④	防災意識向上と迅速な避難に役立つまごまごとらハードマップ整備	まごまごまごハードマップ整備																		完了	市町																			
⑤	水防教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	水防教育、出前講座等を活用した講習会の実施	R元年度から順次実施																	継続実施	—	各種団体等からの要請に応じ随時実施	継続	全機関																
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供																					継続	全機関																
【リアルタイム防災情報の共有】																																								
⑦	防災気象情報の改善	継続的気象予報情報の提供を始めとする各種防災気象情報の改善																					継続	気象台																
【避難指示等の発令】																																								
⑧	避難に着目した簡易版タイムラインの作成	市・町で作成している避難指示に着目したタイムラインの作成・検証、及び精度向上に参画																						継続	市町；作成 県；支援															
【住民等への防災情報の周知】																																								
⑨	防災情報総合サイトの活用と周知	防災情報総合サイトの活用と周知																						継続	全機関															
⑩	様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化(多重复)	かんかんメールや防災・減災さが等防災情報伝達(内容)の強化(多重复)																						継続	全機関															
【避難行動に関する訓練】																																								
⑪	避難に着目した簡易版タイムラインに基づく実践的訓練	市・町のタイムライン作成の及び訓練への支援																							継続	市町；主体 県；支援														
⑫	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援																							継続	市町；主体 県；支援														
⑬	水害リスクが高い区画における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	水害リスクが高い区画における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施、及びその支援	R2年度から順次実施																						継続	全機関														
【河川沿道情報の共有】																																								
⑭	重要水防箇所の共同点検	県管理河川の重要水防区間のうち、危険箇所を抽出し、地域住民代表を交え、出水期までに共同点検(合同点検)を実施																							継続実施	—	県管理河川の重要水防区間内の危険箇所を抽出し合同点検の実施	継続	全機関											
② 地域住民、市民団体、関係機関の連携・協働による地域の特色を担う人材の教育・発掘に向けた取組																																								
【避難場所や避難経路の確保】																																								
①	浸水や土砂災害による危険を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	土砂災害の危険に配慮した避難経路や避難場所の見直し及び避難計画の策定、及びその支援																									R28年度から順次実施	—	避難経路や避難場所の見直し及び避難計画作成への支援	継続	市町；主体 県；支援									
②	避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	避難所・避難経路の安全性の確認																											継続	市町										
③	浸水や土砂災害による危険を考慮した基幹避難所等における備蓄の強化	民間事業者等と災害情報の収集、食料、資機材の備蓄、物資輸送等に関する協定を締結し、災害対応の強化																											継続	市町										
④	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進(再掲)	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援																												継続	市町；主体 県；支援									
【水害浸水リスクの周知】																																								
⑤	水防教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大(再掲)	水防教育、出前講座等を活用した講習会の実施	R元年度から順次実施																												継続実施	—	各種団体等からの要請に応じ随時実施	継続	全機関					
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実(再掲)	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供																															継続	全機関						
【水防活動等】																																								
⑦	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施、及びその支援	R元年度から順次実施																															R29年度から順次実施	—	尾島川、横田川、幸田川、宇木川、全奥知河川でボットラインの運用	継続	全機関		
⑧	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川協力団体との連携	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施																																	継続	市町				
③ 洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組																																								
【既存施設運用等】																																								
①	洪水被害軽減のための既存ダム洪水調節機能強化の取組	ダム事前放流の実施																																	継続	ダム事務所				
【水防資機材等】																																								
②	水防資機材の保有状況の確認、見直し	水防資機材の保有状況の確認																																		継続実施	保有状況の確認	保有状況の確認	継続	県、市町